

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和4年度第2回川西市図書館協議会		
事務局(担当課)	教育推進部 中央図書館(内線4581)		
開催日時	令和4年11月 21日(月)16時00分 ~ 17時17分		
開催場所	川西市立中央図書館 5階 視聴覚室		
出席者	委員	藤岡三恵委員、福田史江委員、上田萌子委員、倉橋茂樹委員、 上田章子委員、中村康子委員、中村恵信委員、比留田知江委員	
	事務局	藪内副部長、村山館長、生田館長補佐	
傍聴の可否	可	傍聴者数	2人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 定期監査(教育推進部)に伴う改善要望事項について 3. その他 4. 閉会		
会議結果	別紙のとおり		

# 審 議 経 過

令和4年度第1回川西市図書館協議会

## 1. 開会

事務局進行

出欠及び協議会成立の確認と協議会委員構成の説明

傍聴の説明

## 2. 報告事項

### (1) 定期監査（教育推進部）に伴う改善要望事項について

事務局より、別添資料にもとづき説明の後、意見交換と質疑応答が行われた。

質問・意見等(要旨)

会 長： 改善要望事項では、当協議会より報告された各提言について、改めて当協議会で協議することが求められていますが、事務局より、現状分析や協議の進め方などございましたらお願いします。

事務局： 審議報告は、平成30年3月31日付けで提出されたもので、今から4年前のコロナ禍前の状況分析をした内容となっています。その後、全国の図書館では電子図書館など非来館・非接触でのサービス向上の流れがあります。また、おはなし会やボランティア活動や養成講座、職員の研修などが縮小されたり、できなかったこともあります。

図書館のPR活動に関してもチラシや訪問によるものから、ウェブを利用した方法に変化しています。

ー以下各項目の補足説明ー

### 1. 図書館の現状について

#### (1) 利用状況

##### ① 個人貸出と予約（令和3年度の状況）

・貸出者数・貸出冊数は増えているが、コロナ禍前には戻っていない。

・予約件数（約148,000件）は過去最高となっている。

ネット予約の割合も増えている。（平成30年度80%→令和3年度90%）

・公民館への予約本配送は、52,000冊と増加。過去最高となっている。

・60歳以上の利用者割合は、全体の44.8%となっており増加している。

##### ② イベントやボランティア活動への参加者数（令和3年度の状況）

・コロナ禍により減少傾向にある。

##### ③ その他（令和3年度の状況）

・団体貸出の利用は、141団体に37,000冊を貸し出しており、過去最高。県内上位3位に位置しており、今後も増えていくものと思われる。

(2) 資料の収集・整理・保存（令和3年度の状況）

- ・計画的に除籍作業を行っている。
- ・朝の配架ボランティアの活動。
- ・本の横積みはほとんど解消されている。

(4) 施設・設備（令和3年度の状況）

- ・専用エレベータ2基を改修した。
- ・開館後31年を経過し、施設が老朽化している。現時点では、障がい者トイレに漏水が発生しており、その改修が喫緊の課題。

2. 現状から見えてくること 一川西市立中央図書館の強みと問題点一

- ・来館者数は、団体貸出し、公民館の利用の増加などにより減少傾向にある。

平成30年度：1,400人／日      令和3年度：1,200人／日

事務局：定期監査（教育推進部）に伴う改善要望事項の補足説明をさせていただきます。

協議会からの8つの提言に対して、監査委員会より指摘された事柄について、当館より回答させていただいた経緯が記載されています。

提言の1から8までを同時期に進めることは難しいと考えており、当館の努力で解決できるものと費用や職員体制などから、直ぐに当館だけでは解決できないものがあります。

ー以下各項目の補足説明ー

提言1：探しやすく、見て楽しい魅力ある書架づくり

書架整理ボランティアの活動により、市民参画を促進しながら図書の配列の乱れは解消しつつあります。

本の表紙を見せる配置をしたり、ポップや解説などを掲示することにより、知的好奇心を刺激すると考えるが、スペースが無く、本の数を減らす努力をしている。

この課題は、当館だけで解決でき、比較的取組み易い提言と考えている。

提言2：市民の利便性向上のため、閉館時間と開館日数の拡大の検討

コロナ禍により、飲食店などの営業時間は短縮されている。職員の働き方改革により、労働時間の縮減やリモートワークなど社会の状況は変化している。開館時間の延長が効果に結びつくか検討する必要がある。

提言3：現在のサービス充実とさらなる向上のための人材確保と専門職の育成

コロナ禍により研修の機会は減っていたが、今年度は司書の研修の機会は増えている。

研修参加だけでなく、オンライン配信などにより業務の合間に知識や情報を得

る機会が増えている。

提言4：図書館の評価と図書館への関心を高める積極的な情報発信

現状として取組めていない。

学校司書に対する研修は、今年度実施しており、その機会を利用して学校図書館との連携を図っていければと考えている。

小中学校生には、学校よりタブレットが配布されており、アンケートの実施等により情報把握できればと思う。

提言5：学校等との連携強化

出前事業を再開している。また、団体貸出が増えていること。小中学校生に配布されたタブレットを電子図書館に利用できるよう学校を通じIDやパスワードを配布し、結果、夏休みに電子図書館の利用が増えている。

市内に大学や専門機関等が少なく、取組みが進んでいない。

提言6：全市域にわたる図書館サービス網の構築

図書館と公民館は別の所管となっており、図書館の方針で公民館図書館の管理運営や活用を図るのは難しい。公民館も事業の見直し等を行われているので、今後情報交換を進めたい。

提言7：電子書籍やデジタルアーカイブの導入

電子図書館は令和2年度に導入され、小中学校などと連携し、利用促進を図っている。

川西市の独自資料の掲載は、データ提供が少なく進んでいない。今後更にPRする必要がある。

提言8：図書館の管理運営方法の検討

専門性や公共性を維持しながら、民間活力の導入を検討することに関しては、今後も最良の方法を探していく必要がある。

会長：事務局より審議報告と定期監査に伴う改善要望事項、現状分析と説明がありました。

説明に対して、委員の皆さまのご意見をお聞かせください。

また、次回の協議会では、短期での達成を目指すものと、長期的に取り組むべきものを仕分けしていただき、各提言について優先順位を協議したいと思います。

委員：説明を聞いた中で重要と感じたところは、魅力的な書架づくりについてです。スペースが無いなか、表紙を見せるなど分かり易い魅力的なレイアウトは難しいとのことですが、現状として蔵書の急激な増加が見込めないなか、いかに上手く本を見せていくかが短期的にも長期的にも重要なことだと思います。

また、市民の方が関心を持つ例えば医療の分野、法律の分野、宿題に役立つテーマ等が直ぐに目につくレイアウトができれば良いのでは無いかと考えます。

委員：スペースの問題は、今後常について回るテーマだと思います。その解決方法として、

本の廃棄があると思います。その状況はどのようになっていますか。

事務局： 現在、当館には32万冊の本を収蔵しており、書架、書庫ともほぼいっぱいです。

毎年購入しただけ、本を廃棄しなければならない状況です。分野ごとに廃棄の基準は異なりますが、主に出版年や貸出回数により選定しています。また、絵本など児童書は汚損が激しいものは買替えています。

委員： 購入した分を廃棄することが基本だと思いますが、更に余裕を持って書架をレイアウトしていくためには、自然科学や社会科学等の本は常に情報が更新されます。そのような視点で廃棄を進めていっていただければと思います。

委員： 廃棄を進めても、保管が必要な本は残ると思います。館外で保管場所は考えているのか。

事務局： 今年度より同じ建物の一室の一部を倉庫として借入れています。それ以外に保管場所を調達する予定はありません。

委員： 学校教育の立場から質問します。出前事業などでいろいろな本を紹介していただき感謝しています。生徒一人一人にタブレット端末が配布されて、事業などで活用していますが、電子図書館の利用状況はどのようになっていますか。

事務局： 令和3年と令和4年を比べると電子図書館の利用冊数は増えています。

児童の利用冊数は、夏休み前の今年7月が177冊。児童に電子図書館のID付与された8月の利用冊数は2,000冊を超えています。

委員： 提言6の長期的な読書活動推進計画について、阪神間の多くの図書館が計画を作成していると思います。予算折衝の資料として有用と考えるが、策定等の進捗状況は。

事務局： 市の内部で予算や計画の話をする際の説得力のある資料として重要と認識していますが、具体的な計画は策定していません。策定するとすると今後になります。

委員： 早期に取り組んでいただきたい。

委員： 団体貸出は、子どもたちもたいへん楽しみにしています。

提言7の電子書籍について、どのような書籍が備えられているのか。

また、新聞記事では紙書籍への回帰の記事がありました。

委員： 学生などに聞くと、電子書籍で読む資料、紙書籍で読む資料と棲み分けているようです。

事務局： 子ども向け絵本の資料（コンテンツ）は数が少ないです。

現時点では、大人向け資料が多い。

子ども向け資料は、絵本や雑誌など購入できるものから増やしています。

大人向け資料は、旅行ガイドなどを購入しており、利用頻度が高くなっています。

委員： 電子書籍に関しては、国会図書館の動向も注視した方が良いと思います。

委員： 提言4の利用の少ない中高生層へのアピールについて、以前視察した三田市立図書館では、一部の書架を中高生に掲示ポップや本の配列を任せていました。大人が気づかない

中高生の目線で書架づくりを任せるイベントができれば、盛り上がるのでは無いかと思います。

委員： 本を音訳してCDを作成し、障がい者の方に配るボランティアを8年続けていますが、全国展開するためのサピエに登録できていない。サピエに登録するためには、データ処理などが必要とのことですが、人手が無くてできないとのこと。作成した資料を川西市内だけでなく、全国で利用できるための体制を整えてほしい。

事務局： 提言3のサービス充実とさらなる向上のための人材確保と専門職の育成に該当するものです。障がい者サービスは長年同じ職員（司書：会計年度任用職員）が担当していますが、次に続く職員が育っていません。正職員は人事異動があり、職种的にも事務職ですので、専門性や深く業務に関わることが難しくなっています。

次に続く職員の育成が重要と認識しています。

委員： 利用者目線で猪名川町立図書館と比べると、川西市立中央図書館は駐車場がありません。本好きの子どもは一人で10冊以上借りることもあり、複数人いれば莫大な量になり自転車で来るとたいへんなので、どうしても猪名川町立図書館に行ってしまう。

また、川西市立中央図書館の貸出期間が2週間なのに対し、猪名川町立図書館は3週間です。子どもも高学年になれば、読書する時間が限られ、小説などは2週間では読み切れないことがあります。

子どもに言われるのが、「どこに本があるのかわからない。」です。子どもは、作家名でなく題名で覚えていたりしますが、検索端末で調べても本の置かれている場所が分かり難く、本の検索だけで時間が過ぎてしまいます。

児童向けでは「サバイバルシリーズ」などまとめて分かり易く置いていただいています。同様に子どもに人気のある本をまとめて置けば、探し易いのではないかと思います。

また育児世代では、「トイレトレーニングの本」、「はみがきトレーニングの本」など職員の方に聞いても場所がわからず、子どもがぐずってしまい帰った事があります。

全部は難しいかもしれませんが、年代に応じた展示をしていただけたら良いと思います。

事務局： 提言1の探しやすく、見て楽しい魅力ある書架づくりに該当します。

児童書など担当がいますので、人気のシリーズとか特集の展示などで検討したいと思います。

委員： 図書館の職員さんは忙しいので、もっと小中高生の手を借りればどうか。

トライやるウィークもあるし、絵の上手な子もたくさんいます。川西市立中央図書館に自分のポップなどが掲示されたら、子どもたちは生き生きすると思います。

あらかじめ材料を用意していただき、募集内容を学校に伝えていただければ、応募があると思います。また、保護者にもアピールできるのではないかと考えます。

それが中高生が作る書架づくりの足がかりにもなると思います。

図書館の職員だけで頑張るのでは無く、学校にも投げかけていただければと思います。

事務局： 生徒さんで図書係とか図書委員は協力してくれますか。

委員： 図書係、図書委員の子どもたちが必ずしも本が好きなのわけではありません。

大部分は、本が好きで係になっていると思いますが、本が好きでなくても、絵が得意な子はいます。

委員： 今の提案は非常に重要だと思います。子どもたちと図書館が連携すれば、提言4の図書館の評価と図書館への関心を高める積極的な情報発信につながっていくのではないかと。

例えば「川西の子どもたちが作る図書館の未来」などのテーマを設け、事業やイベントに活かせるのではありませんか。

事務局： これまでも子ども向けのイベント募集をしましたが、小学校高学年以上の応募が少なかった経緯があります。この年代は勉強やクラブ活動が忙しく、図書館に来てもらうのが難しいと考えていました。今回のご意見をお聞きし、もう一度トライしてみようと思います。

委員： 地域からも子どもたちには、ポスター制作などの依頼が多く、学校側で依頼を選んでいる状態です。トライやるウィークを利用することを勧めます。トライやるウィーク応募の際に、図書館の要望をはっきりと伝えれば良いのではないかと。

委員： 図書館発信で子どもたちと連携が難しいのなら、子どもたちの発表の場として図書館を提供できないか。

以前、図書館で緑台高校の自由研究を掲示をされていたと思います。

図書館でテーマ等を決めるのが難しいのならば、学校内で行われている発表を図書館でも掲示れば、子どもたちも誇りに思うのではないかと。

川西市縁のアーティストなどの資料展示を行い、個展やコンサートなどの情報も発信すれば、アーティスト側から図書館に情報が集まるのではないかと。

川西市が行う各種イベントにも図書館のチラシなど置けないか。市民の情報収集の場として、図書館が活用できないか。

アーティストにとっても、地元の図書館に資料が置かれていることは、ステータスだと思います。

会長： 活発なご意見をありがとうございました。

会長： 次回の協議会では、短期での達成を目指すものと、長期的に取り組むべきものを仕分けしていただき、各提言について優先順位を協議したいと思います。

### 3. その他

令和4年度図書館年報の送付

令和5年2月に第3回図書館協議会開催予定

要点筆記による会議録及び審議経過の作成は、会長、事務局に一任

#### 4. 閉会

※ 資料については、市政情報コーナーに設置しています。